



# 「癒し」と植物

岡山大学資源植物科学研究所 史料館 第7回貴重書展

2012年9月18日(火)～11月30日(金)

「癒し」という言葉は、現在では幅広い意味で用いられています。病気や怪我を治療するという意味から、気持ちを和ませるといった意味まで様々です。古来より人はそうした「癒し」のための材料を探求してきましたが、鉱物や動物などを含めた多種多様な博物の中でもっとも身近で多く利用されたのが植物です。「癒し」と「植物」は切っても切れない関係で、漢方やハーブなど有用な植物のための知識が後の「植物学」の基礎となりました。

今回の展示では、そんな「体に優しい」植物とともに、「癒し」を求めて植物との関わりを深めた先人の足跡をご紹介します。  
(佐藤和広・分館長)

- \* 開館時間：9:00～17:00
- \* 休館日：土曜日・日曜日・祝祭日
- \* 会場：岡山大学資源植物科学研究所 史料館1階 芸文館向かい

岡山大学附属図書館  
資源植物科学研究所分館  
IPSR  
Institute of Plant Science and Resources Branch Library, Okayama University

倉敷市中央2-20-1 TEL 086-434-1204  
<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/library/index-j.htm>



入場  
無料

